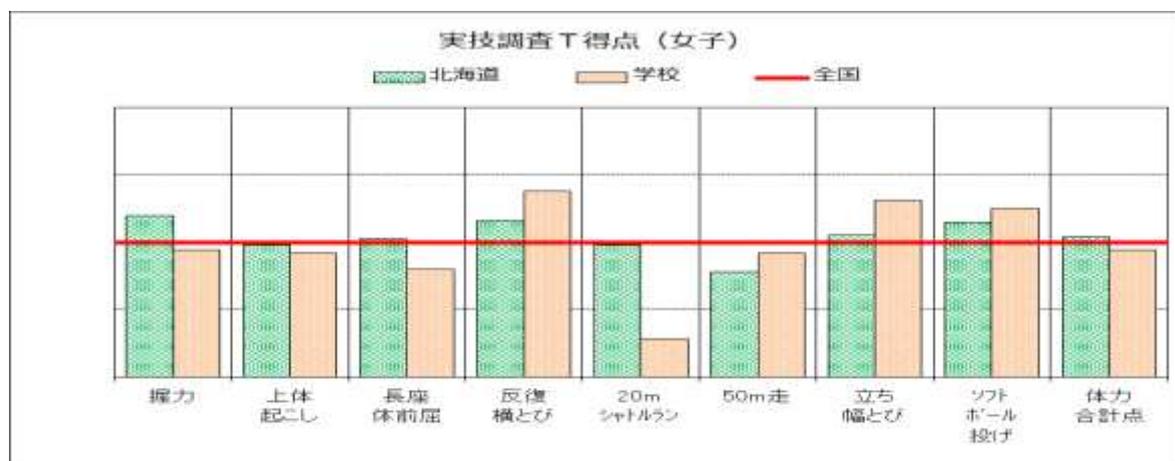
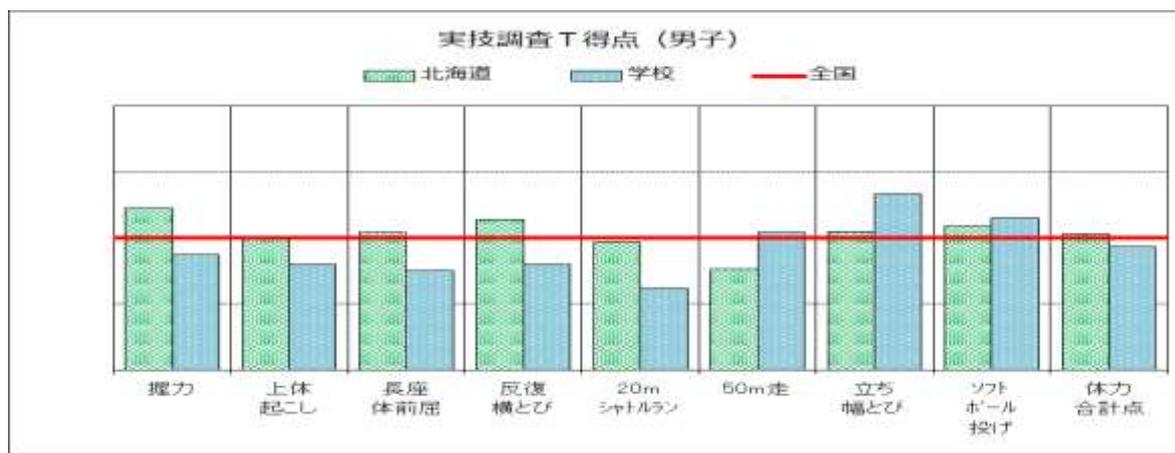


令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の概要

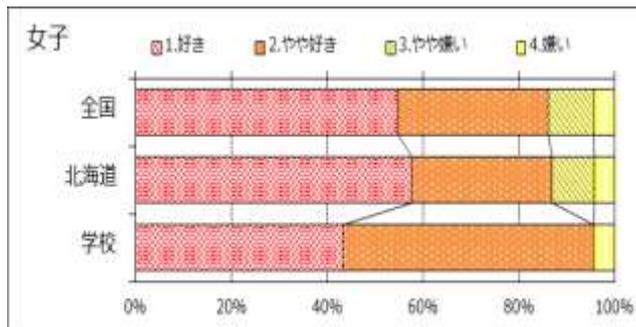
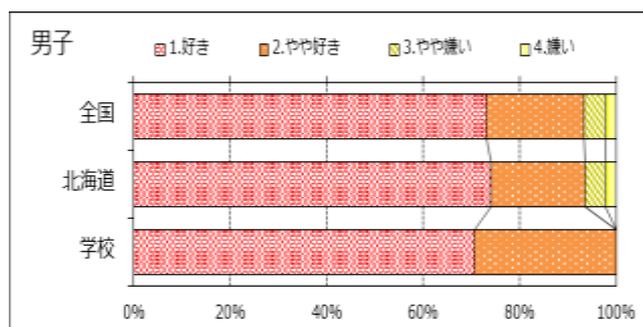
本調査は、児童の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、実施されています。

調査対象者は5年生で、調査内容は、実技に関する調査（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ソフトボール投げ）と質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関するもの）です。

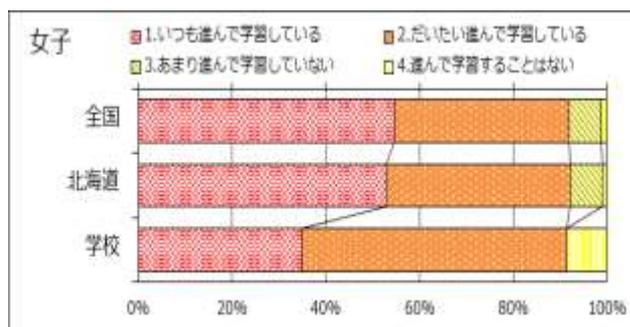
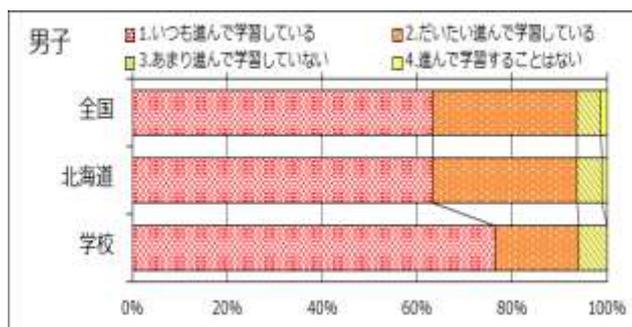
結果の概要をお知らせします。



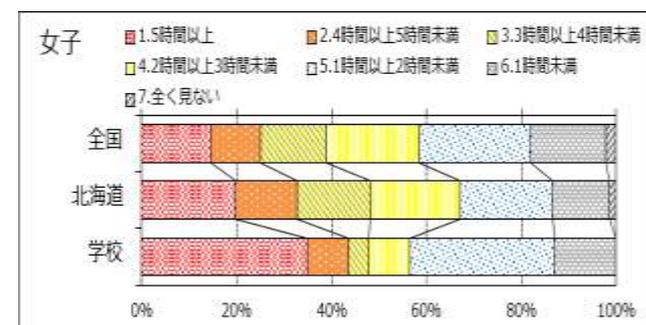
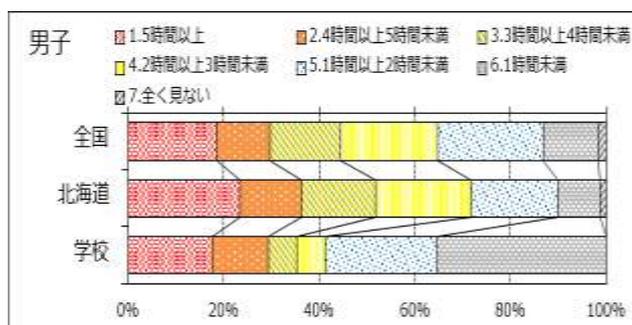
運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好きですか。



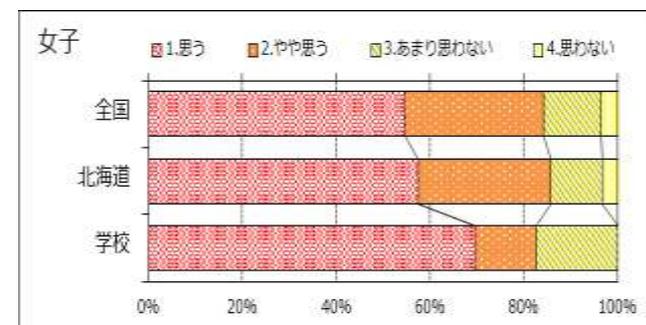
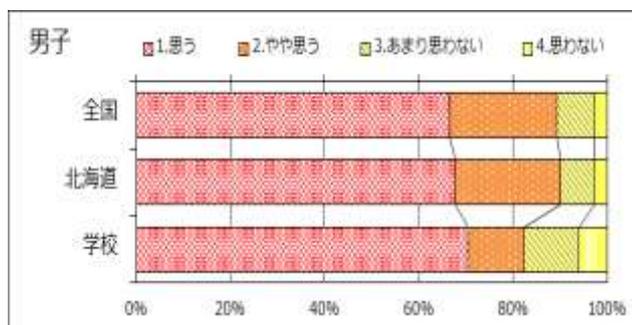
体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



実技に関する調査では、男子は50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げが全国平均を上回りました。女子は反復横とび、立ち幅とび、ソフトボール投げが全国平均を上回りました。

質問紙調査では、男女ともに「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたい。」と思う児童の割合が全国平均を上回りました。

学校では、二中エリアの取組の一環として、体力テスト時に第二中学校の生徒が本校児童に実技指導を行っています。本調査でも、立ち幅跳びの向上や中学校進学時への運動意欲の高まり等、取組の成果が見られました。ただし、女子で、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見る時間が1日5時間以上の割合が全国平均を上回るなど、生活習慣等を含め、1日の過ごし方を見直すことが必要と感じます。

そこで、本校では、①保健の授業も含め、「1日の過ごし方」などについて考える授業づくり、②運動有用感を高める授業づくり、③体力づくりの全校的な取組を通して、児童の体力・運動能力、運動週間等の向上を目指していきます。